

事務事業名		大東町地域福祉センター整備事業		所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	庶務G	課長名	景山 修二	
	施策名	(25)地域福祉の充実		担当者名	山根大樹	電話番号	0854-43-8160 (内線) 4024	
	目的 対 象	市民	意 図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。				
	基本事業名	(075)支え合う地域づくり		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的 対 象	市民	意 図	地域で支え合う体制をつくる。				中事業	中事業名
					0 1 1 5 0 1		社会福祉施設管理事業	
					0 5 1 0 1 6		大東町地域福祉センター整備事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (29 年度～ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
大東総合センター庁舎の老朽化による整備事業については、平成26年度策定の「総合センター庁舎の整備方針」をもとに、大東健康福祉センターを複合施設に改修し、そこを移転先とした。よって、現在そこに事務所がある雲南市社会福祉協議会大東支所の移転先は大東町地域福祉センター内とし、それに関連する改修工事を行なった。併せて、以前から要望のあった和室・娯楽室のバリアフリー化を行なった。

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行なった主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	<工事請負> ・建築主体工事 ・電気設備工事	なし				
	<移転補償> ・雲南市社会福祉協議会大東支所設備等移転補償					
	<業務委託> ・工事監理					
	② 活動指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
ア	発注率	%		25	100	
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	大東町地域福祉センター施設	ア	改修面積	m ²		0	386
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)	
・社会福祉協議会大東支所・介護事業所の移転先を整備する。 ・市民が利用しやすい施設を整備する。	ア	進捗率	%		2.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
委託料1,373千円、工事請負費27,885千円、移転補償費1,403千円 合計30,661千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円		500	29,100
		その他	千円			0
		一般財源	千円		107	1,561
	事業費計 (A)	千円		607	30,661	
	人 件 費	正規職員従事人数	人		1	1
延べ業務時間		時間		250	480	
人件費計 (B)		千円		1,019	2,079	
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,626	32,740		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
大東総合センターが健康福祉センター内に移転整備されるのに伴い、現在そこにある雲南市社協事務所を地域福祉センター内に移転させ改修を行う。併せて、和室をフロア化するなど施設内の改修を行い、住民の利便性の向上を図る。	H26年度策定の「総合センター庁舎の整備方針」をもとにして大東総合センターが大東健康福祉センターに移転するのに伴い、社協大東支所の移転先となるこの施設の整備を行うとともに、老朽化した施設(H9年建築)の改修も行う。	・もともと同一施設内にあった雲南市協大東支所と介護事業所とが元に戻り、連携しやすくなるので、支所・事業所及び市民からも理解を得ている。 ・段差のあった和室・娯楽室をバリアフリー化して、市民要望に応え、介護事業所事務室と会議室への改修工事を施工した。

事務事業名	大東町地域福祉センター整備事業	所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	既存市有施設を改修し、福祉施設を集約するため、これ以上の向上余地はない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	社会福祉協議会及び介護事業所の事業を継続するうえで、施設整備は不可欠 和室の段差解消ができないと、高齢者の利用が困難	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合	(具体的な手段 や類似事業名)		
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	社会福祉協議会及び介護事業所の事業を継続するうえで、施設整備は不可欠	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	既存市有施設を改修するため、これ以上の削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	必要最小限の人員で行っており、これ以上の削減は不可能。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	市の施設移転に伴う社協事務所の移転だから、見直しの余地はない 一般市民が利用する福祉施設の改修工事であるので受益者負担はない
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	完了	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
業務完了																								